

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news



新型コロナウイルスから子どもの心を守る。

WHOから世界中の保護者たちへ

コロナの不安の中、保護者の皆さんの中には、悩んでいらっしゃる方も多いと思います。そんな保護者の方々のために、WHO(世界保健機関)がこの状況における子どもとの付き合い方についてアドバイスを発信していますので抜粋して紹介します。

1. 1対1の時間

子どもと過ごす時間を作りましょう
子どもに何がしたいかを聞きましょう

2. 肯定的でいきましょう

あなたが子どもにしてほしい行動を言葉に
しましょう
子どもがよい行動をしたときは褒めましょ
う

3. 新しい日課を作る

柔軟に、でも一貫した日課を作りましょう
あなたは子どもの見本です

4. 悪い行い

方向転換させましょう 一度止まって考えま
しょう

5. あせらずにストレスマネジメント

あなたは独りではありません
一休みしましょう

6. 新型コロナウイルスについて話をする

子どもが話しやすい環境をつくり、しっかり
聞きましょう
答えを知らなくても大丈夫
気持ちよく終わりましょう

みんなで、この時間（とき）を乗り越えてい
きましょう

【島田療育センター

はちおうじ

所長 小沢 浩】





日本小児神経学会(web学会)



第62回日本小児神経学会が8月17日～20日まで、第121回日本小児科学会が8月21日～23日まで開かれました。今年は、コロナのためにweb学会となり、オンラインで行われました。小児神経学会は、中村由紀子先生「療育センターにおける発達障害児の摂食外来の評価」、小沢愉理先生「島田療育センターはちおうじにおける児童虐待防止委員会の活動について」小沢浩「『困った気持ち』の探り方ー学校自己採点法の活用ー」、「誤診の振り返りが明日の臨床につながる」、「私が論文に挑戦し続ける理由」の発表があり、小児科学会は、井之上寿美先生「重症心身障害児者における簡易型終夜睡眠ポリグラフィー検査(PSG)の有用性」、杉浦信子先生「医学部学生の、発達・療育に関する理解度調査」がありました。

初めての取り組みでしたが、シンポジウムは遠方から参加することもでき、新たな形が色々見え、時代の変化を感じました。

【所長 小沢 浩】



セカンドオピニオン外来

この度島田療育センターはちおうじにおいてセカンドオピニオン外来を開始することになりました。現在診療を受けている主治医以外の専門医から「第二の意見」、セカンドオピニオンを聞くことでファーストオピニオン(主治医)が別の視点から見直され、新たな理解が得られることもあります。神経疾患には稀少難病も多く、治療法も未解明なままで、試行錯誤がなされ、治療やケアの位置づけは不確実です。医学モデルよりも「よってたかってみる」社会モデルの確立が必要な場合もあります。「治せない時に何ができるか」というのが小児神経に関わる者の大きな課題です。それは百人百様のニーズがある重症心身障害でも同じです。こういう中で包括的な何でも屋のようなセカンドオピニオン外来ができたらと考えています。遠方からの需要もあると思いますが、むしろ気軽に受診できる地域のセカンドオピニオン外来というのをめざします。

【医師 久保田 雅也】

医師紹介



【神経小児科

久保田 雅也】

嫌いな言葉は「一致団結」、好きな言葉は仏教用語としての「他力本願」です。

ぼちぼちやります。



【神経小児科 塩田 睦記】

全身を診ること、生活環境に配慮すること、患児に関わる多くの人々の将来像を変化させうことを意識して、診療に従事したいと思っています。



【神経小児科 河野 芳美】

ひとりでも多くのお子さん・ご家族が笑顔で過ごせるよう、微力ながらお手伝いさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。



通 所

第2回島田療育センターはちおうじ通所 ボッチャ大会

2020（令和2）年7月27日～8月4日に、島田療育センターはちおうじ通所ボッチャ大会が通所科フロアで開催されました。通所の利用者様が、7つのチームに分かれ熱戦が繰り広げられました。

コロナ禍の中、少人数で、相手のチームとは距離をあけて逆サイドで向き合う形で対戦をし、三密を回避するように努めました。また、日頃より通所でのボッチャ活動にボールを投げるのが難しい利用者様に、雨どいを使用して少ない力でボールを転がしご参加いただくことが出来るように行っており、今回

の大会でもその雨どいを用いてみなさん日頃の力を発揮されていました。

今回のボッチャ大会では第一にレクリエーションとして楽しむ事を目的としていますが、正確なショットや高度な戦略など息を飲むような見せ場も数多くみられました。利用者様のみなさまの活躍が、今も脳裏に焼き付いています。

【通所科 實方 智保】



しまはち縁日

新型コロナウイルスの影響で外出活動自粛や3つの密を避けるために、集合しての行事も自粛している中、8月25日から1週間をかけて、縁日活動を行いました。通所の1号室を飾りつけし、射的や金魚すくいを利用者様皆様に楽しみました。射的では、グッズや通所生活の中で使える様々な特典カードを利用者様皆様に狙い打ちしました。

狙いの的をじっと見つめる真剣な表情や、狙った的を打ち抜いて喜ばれている顔が印象的でした。

金魚すくいでは活動で作ったビニールの金魚を利用者様みんなですくいました。最初はなかなかすくうことができない方もい

らっしゃる中で、徐々にコツをつかみ後半ではめきめきと腕を上げ、たくさんの金魚をすくっている利用者様もあり、大盛況でした。居室に戻ってからすくった金魚で楽しく遊んでいる利用者様もいらっしゃいました。

利用者様の間隔を保つため、参加人数を調整しながらの活動でしたが、夏の雰囲気を楽しみました。

【通所科 兒玉 裕】



園芸活動

今、通所では、新型コロナウイルス流行のため、利用者同士もソーシャル・ディスタンスも保たなければならず、今迄できていたいろいろな活動がしづらくなっています。そんな中、ベランダで野菜を育てる園芸活動がちょっとした息抜きや楽しみになっています。活動の合間にベランダに出て、ジョウロや水鉄砲で水やりすると、ちょっとした気分転換にもなります。成長の様子を写真に撮り、壁新聞も作りました。夏の最盛期には、ナスにキュウリ、トマト、ピーマン、オクラ、ゴーヤ、レタスが次々と採れ、スタッフに買ってもらう楽しみもありました。



今頃は、ハロウィン用のカボチャ（アトランティック・ジャイアント）が大きく育っているでしょう。収穫が楽しみです。

【相談支援室 室長 箱崎 一隆】



ほっとひといき

最近、料理本と一緒に4種類のスパイスを頂き、スパイスカレーに挑戦しています。

カレーは市販のルーでしか作ったことがなく、難しいのかなと思い込み、手を出していませんでした。自宅にいる時間も増え、これを機にやってみようと思い腰を上げて作ってみました。

玉ねぎの炒め具合など火加減が分からず、時間がかかってしまいましたが、なんとか作ったキーマカレーはスパイスの香りがとてもよくおいしかったです。ただ、辛みがなかったのでまろやかでした。次回は辛みを入れてみようと思います。自分で色々調整できるようになるともっとおいしくなりそうで、これから楽しみです。



何回かつくるとスパイスが身近になった感じがして、他の料理も挑戦してみようかなーと本屋でスパイスの料理本を探すのが楽しみになっています。



【リハビリテーション科 理学療法士 須賀 美央】

おしらせ

information

お母さんのレシピから学ぶ 「医療的ケア児のミキサー食」

著 者：小沢 浩 大高 美和

発行所：南山堂

価 格：1980円

発売中です



島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

えみんぐ

各種 予防接種を行っています。

予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

